

3 4 5 6 7 8 9 340 1 2 3 4 5 6 7 8 9 350 1 2 3 4 5 6 7 8 9 360 1 2 3

康德三年三月

產業開發五年計畫要綱

秘

企劃處  
姜懷邦參事官殿

實業部農務司



3 4 5 6 7 8 9 3401 2 3 4 5 6 7 8 9 350 1 2 3 4 5 6 7 8 9 360 1 2 3 4

### 農務司五年計劃樹立方針

農ハ我立國ノ根幹タリ即チ我國農業ノ盛衰ハ直ニ國ノ隆替ニ關係スル所重大ナルヲ以テ我國農政ハ益々農業ヲ興シ農民ノ生活ヲ安固ナラシメ其ノ福利ヲ増進セシムルヲ念トセザル可カラズ之カ爲ニハ大ニ農民ノ精神ヲ作興シ其ノ知識ヲ啓發シ農畜漁業生産指導ノ徹底ヲ期スルノ必要アルト共ニ他面農村及其ノ外廓ノ根底ニ横タハレル各種農村疲弊ノ禍因ヲ芟除シ農村ニ於ケル各般ニ亘ル經濟組織ノ合理化ヲ圖ルコト肝要ナリ同時ニ農畜產物ハ我國ニ於ケル最モ重要ナル資源タルヲ以テ一層之ガ生産ノ増殖改良ヲ期シ併セテ水產<sup>物</sup>増產ヲモ計ルノ要アルコト言ヲ俟タズ之ガ爲ニハ我國農畜漁業ノ特性ニ鑑ミ畜ニ國內的關係ヲ考慮スルノミニ止マラス常ニ日滿兩國ノ悠久不可分關係其ノ他國外市場トノ關係ニ照應シ組織的計劃的ニ生産ノ配布統制ヲ圖リ國內ノ需要ヲ充足スルト共ニ進ンデ國外輸出ノ増加ヲ企圖シ殊ニ盟邦日本ニ對シ必要ナル物資ヲ供給スルト共ニ他方其ノ主要產業トノ競合ヲ避ケ更ニ日

滿兩國永遠ノ楔タルベキ招民ノ營農定着ニ努メ各方面ニ亘ル綜合的方針ノ下ニ兩國經濟ノ協調的發展ヲ企圖セザル可カラズ仍テ本部ハ建國以來農事指導機關並ニ試驗機關ノ整備充實、農畜產物ノ改良増殖、農村經濟組織ノ合理化、農村振興計畫ノ實施、水產物ノ増殖獎勵等ニ付銳意攻究ヲ重ネ着々實施ニ移リツツアル現状ナルモ上述ノ方針ニ則リ今後五年間ニ於テ行ハントスル農務行政計劃ノ大綱ヲ述ブルニ次ノ如

。農村經濟

改善  
合理化

。四、農業經營之合理化

- (一) 粟ノ改良増殖
- (二) 棉花ノ改良増殖
- (三) 洋麻ノ増殖
- (四) 亞麻ノ増殖
- (五) 黄色煙草ノ増殖
- (六) 甜菜ノ増殖
- (七) 柞蠶改良増殖
- 三、病蟲害ノ驅除豫防
- 四、農業經營之合理化
  - (一) 經營ノ多角化
  - (二) 改良農具及共同施設ノ利用
  - (三) 副業ノ獎勵
  - (四) 自給肥料ノ改善増産
  - (五) 共同備林及牧野ノ設置

第三 畜産ノ振興

馬 ↓ 馬政局

- 一、綿羊ノ改良増殖
- 二、肉役牛ノ改良
- 三、養豚ノ改良増殖
- 四、酪農獎勵
- 五、畜産加工業ノ獎勵
- 六、家畜防疫
- 七、牧野及牧草ノ改良
- 八、家畜交易市場ノ助成並ニ統制
- 。第四 販賣及配給組織ノ改善
  - 一、農産物處理、販賣及配給ノ改善
  - 二、農産物検査制度ノ確立
  - 三、農産物價格調整制度ノ確立
- 。第五 農業金融ノ改善

農業會議

農林部  
馬政局

- 一、農業金融機關ノ整備
- 二、災害復興資金ノ融通制度ノ樹立
- 第六 農業團體制度ノ整備充實
- 第七 農家負擔ノ合理化
- 第八 農村計畫ノ樹立
- 一、農民精神ノ作興
- 二、指定農村ニ於ケル農村振興
- 第九 水産業ノ開發
- 一、計畫要旨
- 二、基本施設ノ整備
- 三、漁業秩序ノ維持
- 四、北滿未開水面ノ開發
- 五、海洋沿岸漁業ノ開發
- 第六 農務行政機關ノ整備充實

六、水產物販賣ノ擴張ヲ利シ  
七、漁業行政機關ノ整備充實

第一 農地制度ノ改善及農地ノ利用開發

一、農地制度ノ改善

說明

農地制度ノ改善ニ關シテハ先ヅ農地ニ關スル權利關係其ノ配分關係等ノ現實ヲ見究メ現在ノ狀態ガ農業ノ發展ヲ來ス上ニ於テ如何ナル障害ト爲リツツアルヤ又農業者ノ經濟生活ニ如何ナル不利ヲ與ヘツツアルヤヲ検討スルコト肝要ナリ右ノ方針ノ下ニ今後臨時産業調査局ノ農村實態調査其ノ他基礎資料ノ整備ニ伴ヒ之ガ是正ニ關シ適切ナル方策ノ樹立ニ努メントス

實施要領

農村實態調査ハ康德二年北滿方面ニ於テ行ハレ本年ニ於テハ主トシテ南滿地方ニ付實施中ニ歸スルヲ以テ右調査ノ整備ヲ俟テ康德四年度ヨリ農地制度ノ改善ニ付異體案ノ立案ニ着手スル豫定ニシテ農牧林地配分ノ合理化、農地所有制度ノ合理化其ノ他耕作ノ

安定、不當小作料ノ是正、自作農創定、農地相續制度ノ合理化等  
ニ關シ土地局其ノ他部局ト協力シ順次攻究ノ上立案セントス  
ニ農地ノ利用開發

(一) 未耕地及廢耕地ノ開發

說明

全國ヲ通ジ一千五百万陌ニ達スル未耕地及廢耕地ノ利用開發ヲ  
期スルハ産業ノ發展及農村振興上最モ緊要ナルヲ以テ速ニ適切  
ナル方策ノ樹立ヲ要ス

實施要領

未耕地及廢耕地中取敢ズ權利者不明ノ土地ニ付一定期間ニ所有  
者明ナラザル場合ニハ之ヲ國ニ歸屬セシムルノ統制ヲ速ニ制定  
シ右ノ土地ニ關シ日本人ノ入植、自作農ノ創定等ノ方策ヲ講ジ  
産業ノ開發農民生業ノ安定ニ資セントス而シテ其ノ他ノ土地ハ  
付テハ各種調査ノ整備ニ伴ヒ順次之ガ方策ノ樹立ヲ爲サントス

(二) 防排水施設ノ助成

說明

現在耕地中排水又ハ水害豫防等ノ土地改良施設ヲ必要トシ而モ  
其ノ效果ヲ確保シ得ベキモノ相當ノ面積ニ達スルヲ以テ之ガ施  
設ヲ促進シ以テ農家經濟ノ安定ヲ期セントス

實施要領

防排水施設ノ企畫ハ治水計畫ニ順應スルコトヲ必要トスルヲ以  
テ民政部其ノ他ノ關係官廳ト緊密ナル聯繫ヲ保チツツ適當ナル  
地方ヨリ順次着手セシムルコトトシ之ガ康德四年度ヨリ具体的  
計畫ヲ實施セントス

(三) 畑作灌溉試験ノ施行

說明

小麥、棉花、其ノ他特定ノ畑作物ハ灌溉ニ依リ其ノ增收ヲ期シ  
得ルコト農事試驗場ニ於ケル試験ノ成績ニ徴シ明カナリト雖モ

尙採算關係其ノ他ニ於テ如何ナル獎勵方策ヲ講ズベキヤニ付充  
分之ヲ闡明シ以テ今後ニ於ケル適當ナル計畫ノ樹立ニ資セント  
ス

#### 實施要領

農事試驗場ト連繫ヲ保チツツ適當ナル民間農業機關等ニ移託シ  
テ地方別ニ現在ノ水稻作ヲ特定ノ畑作物ニ置換スル方法及簡單  
ナル鑿井ニ依ル灌溉方法ト依リ康徳四年度ヨリ之ガ試驗ヲ施行  
セントス

#### (四) 農業水利事業ノ統制

##### 說明

農業水利事業ニ付テハ實業部訓令 康徳二年 一三號ニ依リ之ガ指導取締  
ニ當リツツアルモ(一)就中水田開發事業ハ日本ニ於ケル米作トノ  
關係上統制ノ徹底ヲ期スルノ要アルト共ニ(二)本事業ノ企畫ハ他  
ノ同種事業又ハ附近ノ耕地、道路、河川等ニ影響スル所多キノミ

ナラズ(三)殊ニ關係農民ハ素ヨリ當該地方ニ於ケル一般農民ニ及  
ボスベキ重大ナル利害關係ノ考察ヲ緊要トシ(四)之ヲ等閑視シタ  
ル場合ニ於テハ延テ民族上ノ葛藤ヲ惹起スル等産業開發ノ全般  
ニ支障ヲ來スノ因トナル惧アルヲ以テ確實ナル根據ノ下ニ之ガ  
統制及指導ヲ加フルノ必要アリ

##### 實施要領

速ニ別紙農業水利事業統制法ヲ公布シテ企業ノ許可制度ヲ確立  
シ之ガ適正ナル運用ニ依リ各般ノ弊害ヲ未然ニ防止セントス

#### 三、移民適地ノ選定並ニ移民ノ定着指導

##### 說明

日滿不可分關係ニ鑑ミ日本人農業移民ノ入植ニ依リ産業ノ開發ヲ  
促進スルト共ニ併せて日滿兩國永遠ノ楔タラシムルハ不動ノ國策  
タルヤ言ヲ俟タズ仍テ速ニ移民適地ヲ選定保持ヲ圖ルト共ニ他面  
移民ノ定着指導ニ關スル方針ヲ確立スルコトハ刻下ノ急務ナリト

ス

### 實施要領

入植地ノ選定ニ就テハ日本政府及關係機關ニ協力シテ日本農民ノ特殊性ニ鑑ミ之ガ適地ヲ選定スルト共ニ滿洲ノ農業事情ニ則シタル各種ノ助成施設ヲ擴充シテ治ク之ヲ均霑セシムルノ措置ヲ講ゼントス

## 第二 農業生産ノ振興

### 一、農事試驗機關ノ整備擴充

#### 説明

農事試驗事業ハ一國農業開發ノ源泉タルベキモノニシテ既ニ克山錦縣、哈爾濱、佳木斯ニ國立農事試驗場並ニ吉林、龍江ニ省立試驗場ヲ設置シテ農產資源開發ノ基本的試驗研究ニ着手セルモ、土地廣大ニシテ天然要素ヲ異ニスルコト大ナル本邦ニ於テハ上記六場ヲ以テシテハ到底ソノ目的ヲ達成スルコト能ハズ、益ソノ設備

ノ充實ヲ計ルト共ニ今後氣象要素、地形、土質並ニ經濟的地位等ノ特殊性ニ應ジ漸次國立及省立農事試驗機關ノ新設ヲ計ルト共ニ地方各縣ニ現存スル試驗機關ノ擴充ヲ計ルヲ要ス  
尙氣象ノ觀測ハ軍事交通産業上極メテ重要ニシテ夙ニ觀象臺ヲ設ケ之ガ擴充ヲ圖リツツアルモ農業ハ特ニ地域の氣象ニ最モ關係深キヲ以テ之ガ補助的觀測ノ爲メ別途既ニ六十五ヶ所ノ簡易觀測設備ヲナシ今後益々其ノ觀測數値ノ正確ヲ期スルト共ニ一縣一ヶ所主義ヲ以テコレヲ全國ニ擴張シ以テ農業氣象觀測網ノ完璧ヲ期セントス

實施要領

(一) 國立及省立農事試驗場ノ新設擴充

(擴充)	國立農事試驗場 克山、錦縣、哈爾濱 佳木斯	省立農事試作場 吉林 龍江
(新設)	赤峰	延吉 黑河 奉天 密山 寧安 洮南 (又ハ洮安) 承德

(二) 縣立農事試作場ノ擴充

- (1) 獎勵品種普及地域内ニ於ケル現存縣立農事試作場ハ原種圃トシテ施設ノ充實ヲ計リ之ガ爲メ(イ)縣豫算ニ於ケル勸業費ノ擴張(ロ)政府助成金ノ交付(ハ)專任技術員ノ配置等ノ方法ヲ講ズ
- (2) 獎勵品種普及地域外ニ於ケル現存縣立農事試作場ハ特ニ必要ナルモノ(適否試驗又ハ品種試驗實施上)ヲ除キ縣財政ノ許ス範圍内ニ於テ利用セシメ之ニ對シ適當ナル指導ヲ加フ

(三) 簡易氣象觀測ノ擴充

- (1) 觀測員ノ指導講習(年一回宛)
- (2) 觀測機具ノ補給
- (3) 未配置縣ニ對スル觀測設備ノ擴充(今後五ヶ年計畫)

三 農產物ノ改良増殖

農產物ノ改良増殖ニ付テハ前述ノ計畫樹立方針ニ則リ大ニ努ムルノ方針ナルモ特ニ地域的生産ノ配布統制ニ意ヲ用ヒ且第三項農業

經營ノ合理化ノ部ニ於テ述フル所ニ從ヒ細ダノ農家ニ付テハ各作物相互ノ間ニ充分ナル連關性ヲ保タシメ偏倚スルコトナカラシメントス

### (一) 大豆ノ改良増殖

#### 説明

我邦經濟ノ根幹タル大豆ニ關シ今後永ク世界市場ニ獨歩ノ地位ヲ確保シ競争品ニ對スル彈力性ヲ強大ナラシムルニハ品質ノ改善統一ヲ計ルト共ニ單位面積當リノ收量ヲ増加シテ生産費ノ低下ヲ圖ルコト極メテ肝要ニシテ海外市場ノ情勢ヲ洞察シ良品質ノ生産ヲ計畫的ニ獎勵スルヲ要ス

#### 實施要領

##### ノ優良品種ノ育成

克山、哈爾濱、佳木斯、(公主嶺) 各農事試驗場ニ於テ着手中ノ本事業ノ完成ヲ急グ

## 2. 優良品種ノ普及

既ニ試驗ノ結果優良ナルコト判明セラレタルモノハ左ノ如ク普及ヲナシ各地域別ニ一應ノ品質ノ改善統一ヲ圖ル

黃寶珠、中部地帯(間島地方ヲ含ム)(本年度ヨリ實施五年完了)

公五五五號、北部地帯(明年度ヨリ實施)

黃金六九、南部地帯(明後年度ヨリ實施)

黃大六七六、(明後年度ヨリ實施)

公五六一號、西部地帯(明後年度ヨリ實施)

佳 號(未定) 東北部地帯(明後年度ヨリ實施)

## 3. 獎勵品種ノ原種生産及種子ノ配給

原種圃、從來ノ縣立圃場ヲ利用スルコトトシ原種圃ノ經營ニ對シ獎勵金ヲ交付シ又專任技術員ノ設置ヲ獎勵ス

採種圃、第一次第二次農家委託採種圃ノ設置又ハ農會實行組

- 合ノ經營ノ採種圃ニ對シ獎勵金ヲ交付ス
- 々 競技會及品評會ノ開催
- 々 調製設備ノ獎勵
- 6. 乾燥設備ノ獎勵
- 7. 検査制度ノ合理化
  - (1) 従來ノ改良大豆検査規則ノ改正
  - (2) 滿鐵混保制度ノ改正
  - (3) 間島ニ於ケル検査制度ノ實施

(一) 小麥ノ改良増殖

說明

北滿小麥ノ改良増殖ハ年々五、六千万圓ニ達スル小麥粉ノ輸入ヲ及ブ限リ防遏シ併セテ農家經濟ノ向上、拓殖ノ進展日滿經濟ノ提携上ヨリ見テ刻下ノ緊要事ナリ

實施要領

- 1. 優良品種ノ育成ト克山、哈爾濱、佳木斯各農事試驗場
- 2. 優良品種ノ普及ト札幌春小麥北部地帯（明後年度ヨリ實施）改良三號小麥北部地帯（明後年度ヨリ實施）
- 3. 小麥作付面積ノ増加
- 々 原種圃及採種圃ノ設置
- 5. 生産者ノ共同組合及協同穀物倉庫ノ設置
- 6. 小麥検査所ノ設置
- 7. 改良増殖計畫ノ促進上必要ナル側面的對策

- (1) 小麥及小麥粉輸入關稅ノ合理化
  - (2) 小麥及小麥粉特定運賃率ノ制定
  - (3) 北滿製粉工業ノ統制及施設ノ改善
- (二) 粟ノ改良増殖

說明

粟ハ我國民ノ主要食糧タルノミナラズ又醸造用原料ニシテソノ稿稈ハ家畜ノ飼料トシテ重要缺クベカラザルモノナリ  
 特ニ年額一五〇万石ノ粟ハ朝鮮ニ輸出セラレ間接ニ日本ノ食糧問題ニ關聯ヲ有スルモノナレバ日滿間ニ於ケル糧食需要關係ヲ考慮シツツ計畫的ニ生産ノ増加ヲ計ルコトトシ之ガ爲ニハ品種及耕種法ノ改善ニ依リ單位面積當リノ收量ヲ増加シ併セテ今後有利ナル特用作物ノ採用ノ餘地ヲ大ナラシメントス

實施要領

ノ優良品種ノ育成

哈爾濱、克山、佳木斯、錦縣、(公主嶺)各農事試驗場ニテ着手中ノモノノ完成ヲ急グ

2. 優良品種ノ普及

大白種ト中部地帯(本年度ヨリ計畫的ニ實施)

優良適品種ノ育成ヲ待チテ他地帯ノ普及ニ着手スル豫定

3. 黑穗病、白髮病ノ豫防實施

フオルマリンニ依ル種子消毒法ノ普及ニ依ル

4. 粟夜盜虫

掘溝、捕殺、誘殺、其ノ他防除方法ノ獎勵

5. 原種圃ノ設置

大白種ノ原種生産ハ當分滿鐵原種圃ヲ利用ス

6. 採種圃ノ設置

粟ハ他作物ニ比シ増加率大ナルヲ以テ採種圃ヲ一階梯式トシ農家委託又ハ農會、組合ニ經營セシム

#### 四 棉花ノ改良増殖

##### 説明

棉花ノ改良増殖ハ日滿紡績工業原料ノ自給ノ一助タラシムルト共ニ軍需上ノ要望ヲ充足セシメ他面滿洲農家經濟ノ向上ヲ圖ルコトヲ方針トシ二十年計畫ヲ樹立栽培面積三十万町歩、繰棉一億五千萬斤ノ生産ヲ得ル目標ニ向ヒテ大同二年ヨリ着手、栽培指導獎勵機關トシテ滿洲棉花協會、處理機關トシテ滿洲棉花股份有限公司ヲ設立獎勵ニ努メツツアリ康德三年度ヲ以テ第四年目ニ入ルモ其ノ實績ニ徴シ一層健實ナル發展ヲ策セントス

#### 丙 洋麻普及計畫

##### 説明

滿洲農産物ノ輸送及貯藏上絕對ニ必要ナル麻袋原料ハ全部印度ヨリ輸入シオルモノニシテ其ノ數年々五千萬枚<sup>千</sup>五百萬圓内外ニ達ス依テ此ノ輸入ヲ防遏スル爲「ケナフ」ノ栽培ヲ獎勵シ國內ニ於ケ

ル麻袋原料ノ自給自足ヲ圖ルト共ニ更ニ進ンデ日本及極東ノ纖維工業ニ對シ原料ヲ供給シ他面農家經濟ノ向上ヲ圖ラントス

實施要領

#### 1. 原種生産及種子ノ配給

原種 1. 滿鐵農事試驗場ヨリ配給ヲ受ク

採種圃 1. 農家ニ委託ス（耕作手當ヲ支給ス）

#### 2. 栽培及調製法ノ指導並ニ統制（講習會ノ開催並ニ巡回現地指導）

#### 3. 規格検査ノ施行

#### 4. 黄麻及麻袋關稅ノ引上

#### 5. 普及面積及生産豫定

第一次普及地域九縣内ニ於テ今後五箇年間ニケナフ作付面積一四、〇〇〇陌、生産量一四、〇〇〇噸ニ達セシメ以テ既存工場所要原料並ニ地方消費纖維ヲ自給セントス

#### 丙 亞麻ノ増殖

說明

亞麻ハ其ノ纖維頗ル強韌性ニ富ミ品質良好ナルヲ以テ織布及製糸トシテ廣ク用ヒラレ殊ニ飛行機ノ翼布、ツツク、天幕、雨襪擔架地ヲ初メ其ノ他機械類ノ覆布等軍需品トシテ缺クベカラザルモノナリ

我國ニ於ケル亞麻ノ耕作ハ康德元年度ヨリ開始シタルモノニシテ本年作付豫定面積一万五千町步トシテ滿日亞麻公司ヲシテソノ栽培ノ直接指導並ニ收買ニ當ラシメ面積ハ五ヶ年間ニ約十萬町步迄擴張スル方針ナリ

實施要領

- 1. 亞麻ノ品種改良並ニ優良品種ノ普及、栽培法ノ改善
- 2. 亞麻栽培ニ對スル實地指導ハ主トシテ滿日亞麻公司ヲ督勵シテ之ニ當ラシム
- 3. 亞麻會社亞麻增殖計畫

將來五ヶ年間ニ作付面積ヲ十萬町步トシ亞麻纖維ノ生産ヲ四億五千萬斤其ノ價格一千八百萬圓ニ達セシム

(四) 黃色煙草增殖計畫

說明

在來種葉煙草ハ喫味辛辣品質劣等ニシテ紙煙ノ原料トナラズ爲ニ我國紙煙製造原料トシテ三八〇萬貫、價格トシテ一、八三六萬圓ノ巨額ヲ年々輸入シツツアル現狀ナリ  
仍テ紙煙ノ主原料タル米國種黃色葉煙草ノ栽培ヲ獎勵シ國內ニ於ケル煙草ノ可及的自給ヲ計ルト共ニ多角的農業經營ニヨリ農家經濟ノ向上ヲ計ラントス

實施要領

- 1. 獎勵品種 (アロイオロイ) (アロイオロイ)
- 2. 農事試驗場ニ於ケル煙草ノ品種改良並ニ耕種試驗設備ノ擴充
- 3. 煙草作指導員ノ配置

- 4. 模範耕作圃ノ設置
  - 5. 耕作組合ノ設置
  - 6. 低利資金ノ融通
  - 7. 再乾燥設備設置費ノ補助
  - 8. 普及面積及生産額
- 今後五箇年間ニ栽培面積一一、四〇〇陌、生産量四〇〇萬貫ニ達

セシム

内) 甜菜増殖

説明

甜菜ノ栽培ハ現在製糖會社ニ於テ濱江省阿城縣下ニ約五、〇〇〇陌奉天省瀋陽縣下二、〇〇〇陌ノ契約栽培ヲ爲セルノミナルモ今後適切ナル指導ト奨勵ニヨリ二十箇年ヲ以テ栽培面積一二、五〇〇陌四箇年輪作ト見テ五〇、〇〇〇陌之ヨリ生産セラルル甜菜根約五億斤ニ達セシメントス而シテ此ヨリ製造セラルベキ砂糖ハ七

五万擔ニシテ現在北滿ニ於ケル年消費量ハ三〇万擔ナルモ將來人口ノ増加ニヨリ少クトモ七〇万擔ヲ要スベク二十箇年後ニハ北滿ニ於ケル砂糖ノ自給自足ヲ計リ他面多角經營ニヨル農家經濟ノ向上ニ資セントス

實施要領

- 1. 優良品種ノ育成、栽培法ノ改良 (哈爾濱農事試驗場ニテ)
  - 2. 優良品種ノ普及
  - 3. 甜菜ノ栽培ニ對スル實地指導ハ主トシテ製糖公司ヲ督勵シテ之ニ當ラシム
  - 4. 關稅ノ保護、鐵道運賃ノ低減並ニ製糖工業及甜菜栽培業ノ統制
- 内) 柞蠶改良増殖計畫

説明

我國ニ於ケル柞蠶産額ハ從來約八十億粒内外ト推定セラレ柞蠶糸トシテノ輸出總額ハ一千二百万圓ニシテ其ノ内日本向輸出ハ

七割内外ヲ占メ、我國貿易上ノ地位ハ大豆、石炭ニ次ギ高粱、粟ニ匹敵スル重要ナル輸出品タルノミナラス、日本ニ於ケル柞蠶糸ヲ原料トスル絹紬ノ輸出額ハ一千五百万圓乃至二千萬圓ニ達シ、既ニ世界商品トシテノ地位ヲ占ム、然ルニ原料供給ノ地位ニアル我國柞蠶業ノ進展之ニ伴ハズ、國內柞蠶製絲工場ハ原料ノ不足ノ爲、繰業僅カ五ヶ月間ニ過ギザル状態ニアリ

茲ニ於テ極力柞蠶ノ改良増殖ヲ圖リ、日滿兩國ノ需要ヲ充足セシムルト共ニ我國百万ノ柞蠶飼育農家ノ經濟ヲ向上セシムルハ極メテ緊要ナルモノトス

實施要領

(1) 本計畫ノ目標

現在ノ四十万陌收購八十億粒ヨリ今後五年間ニ百万陌、收購量二百四十億粒ニ達セシム

(2) 試験研究機關ノ擴充

種繭場ニ於テ滿鐵ノ施設ト協調シ柞蠶飼育上未解決問題ノ研究ヲ急グト共ニ之ガ機能發揮ノ爲施設ノ擴充ヲナス

(3) 柞蠶飼育者組合ノ設置

組合ヲ通ジ指導獎勵ヲ爲ス

(4) 指導員ノ配置

柞蠶飼育縣ニ指導員ヲ配置シ、組合ヲ通ジ柞蠶飼育技術上ノ改善獎勵竝ニ生産繭ノ處理、販賣ノ指導ニ當ラシム

(5) 優良種繭ノ生産竝ニ配給

(イ) 優良種繭生産地ノ選定

(ロ) 優良種繭配給ノ統制強化

(6) 膿病ノ豫防獎勵

(7) 稚蠶ノ保護竝ニ虫害防除ノ獎勵

(8) 飼料ノ選擇及新飼料利用ノ獎勵

(9) 殺蛹貯藏法ノ改善獎勵

(10) 春蠶飼育ノ奨勵

(11) 飼育地（蠶場）ノ改良奨勵

(12) 柞蠶飼育資金ノ融通

(13) 柞蠶繭取引ノ改善

三、農産物病虫害防除計畫指導奨勵五年計畫

說明

我國ニ於ケル病虫害發生ハ比較的多ク而カモ農民文化程度低ク從來之等災害ニ關スル何等對策講究セラレタルコトナキ爲之等病虫害ニヨル被害ハ年ト共ニ増加ノ傾向ヲ示シ國內主要農産物タル高粱、小麥、粟ノ黑穗病及粟ノ白髮病ニヨル損失ハ年々ソノ全收穫ノ二〇%以上ノ多キニ達シソノ他毎年各地ニ發生スル粟夜盜虫、粟螟虫、大豆ノ心喰虫、水稻ノ泥負虫、蔴子ノ害虫其ノ他各種特用作物ニ被害ヲナス虫害ヲ列記セバ枚舉ニ逼アラズ損失金額概ネ數億圓ニ達シ又果樹園藝地帯ニ於テモ其ノ被害多ク商品價値ヲ低

下セシメ海外市場ニ於テソノ盤價ヲ失墜スルノミナラズソノ輸入サヘ拒否サルル場合多キヲ以テ此ノ儘放置スルニ於テハ今後國內産業進展上由々シキ問題ナリトス依而今後五年間ニ涉リ別記項目ニ分ケテ國內農産物病虫害防除實施ヲ遂行セントス

實施項目

高粱、粟、小麥ノ黑穗病豫防消毒（四年完了）以下各縣委託

（1. 本部直轄 1.2 豫算令達 1.3. 一部補助 1.4 指揮監督（縣費業費運用））

病虫害防除講習會（二ヶ年完了、第二年及第三年）

（本部主催、省及縣指導者講習、第二年度、縣主催民間代表講習第三年度）

粟夜盜虫及大豆ノ心喰防除指導奨勵（五年間完了）

（準備調査 1 藥品、方法、適否試験。補助費交付 1 秋耕及畑燒 1 天敵ノ利用）

ソノ主要作物病虫害防除指導獎勵

(前項ニ準ス)

苹果及梨ノ病虫害防除指導獎勵

(果樹組合設立助成ノ驅除獎勵費交付、日滿組合同工作ノ共同  
燻蒸所設置)

輸出入植物、取締検査規則制定及植物検査所設置(第三年)

(法規發布、検査所設置)

農産物病虫害取締規則公布(二年間第四年第五年)

(省令ノ實業部公布)

#### 四 農業經營ノ合理化

(一) 經營ノ多角化

說明

我農家ノ經營方法ハ從來ノ自然發達ニ委ネラレ其ノ經營内容ハ頗  
ル單純ナル爲之ニ對シ科學的研究ノ結果ヲ適用シ經營ノ多角化ヲ

ナシ農家收入平均化竝ニ之ガ全般的増加ヲ圖リ併セテ農民ノ營農  
ニ對スル興味ヲ増進スル必要アリ

實施要領

康徳二年度ヨリ實施中ノ指定農村ニ於テハ特ニ農家經營ノ多角化  
ヲ獎勵スルモノナルガ尙一般ニ營農上有利ナル各種作物及家畜ノ  
添加導入ニ對シ適地獎勵ノ方法ヲ採リ益々之ガ指導ヲ行フコトト  
シ適當ナル指導機關竝ニ印刷物、講習會等ヲ通ジ營農多角化ノ普  
及ニ力ム

## (一) 改良農具及共同施設ノ利用

說明

我國農業者ノ農業經營ノ方法ハ末ダ極メテ幼稚ニシテ殊ニ農具ノ利用及各種共同施設ノ利用ニ依ル改善ノ領地多ク存スルヲ以テ此際改良農具使用ノ普及ヲ計リ各種共同施設ヲ利用セシムルコトハ詢ニ肝要ナリ

實施要領

康徳二年度ヨリ實施中ノ指定村ヨリ始メテ漸次全國ノ農村ニ改良農具其ノ他共同作業場等ノ設置ヲ獎勵スルコトトシ本年一月農事共同施設助成規則ヲ制定公布シタリ今後パンフレットノ頒布、講習會ノ開催等ニ依リ一層所期ノ目的達成ニ努メントス

## (二) 副業ノ獎勵

說明

一般ニ農家ハ冬季間ニ於ケル勞働ノ余假竝ニ婦女子勞力ノ利用ニ關シ著シク欠陥ヲ有スルヲ以テ之等農家ニ於ケル凡ユル未利用部分ノ有效利用化ヲ圖リ農家經濟ノ安定ニ貢獻スルコト必ズナリ

實施要領

副業ノ獎勵ニ關シテハ今後益研究ヲ要スベキモノ多ク存スルモ既ニ有數ナルコト判明セルモノニ付キテハ指定村等ニ於テ逐次之ガ獎勵ニ着手セントス但シ我國ノ如ク經濟環境ノ發達不充分ナル地方ニ於テハ副業生産ノ目標ハ先ヅ農家購買品ノ自給化ヲ主目的トシ副業生産ノ習熟竝ニ販路ノ確保ニ伴ヒ漸次販賣ニ移行スル如ク指導スルヲ要スルモノ多シ而シテ我國農家副業トシテ好望ナルモノ在來副業ノ他概ネ次ノ如シ  
衣服裝身具等ノ調製、各種果樹蔬菜栽培、農産竝ニ採取野產品ノ

加工處理、小動物飼育、(養鶏、養蜂等畜)產品ノ加工處理  
四)自給肥料ノ増産獎勵

說明

農業經營ノ合理化ヲ圖ル上ニ於テ適宜ニ肥料ヲ施シテ地力ノ維持ヲ計ルハ極メテ緊要ニシテ特ニ漸次集約化シツツアル南滿ニ於テハ地力減退ノ徵候漸ク顯著トナリ近時金肥ヲ使用スルモノサヘ漸次増加シツツアル現狀ナリ、之ガ對策トシテ化學肥料ノ合理的施用法ノ指導ヲナスコト必要ナルハ勿論、自給肥料ノ増産ヲ計リ其ノ製造法ニ關シ適切ナル指導ヲ加ヘ以テ生産力ノ増進ヲ計ルハ焦眉ノ急務ナリ殊ニ自給肥料ノ問題ハ畜産並ニ燃料問題ト密接ナル關係ヲ有スルヲ以テ之等ノ關聯ヲ考慮シテ計畫的ニ獎勵シ其ノ實效ヲ期セントス

實施要領

(1)人糞尿ノ合理的利用

糞尿貯藏法ノ改善、厠ノ改造、肥溜ノ設置、部落共同便所ノ設置

(2)家畜糞尿及家禽糞ノ増産

家畜家禽飼養頭數ノ増加

家畜家禽管理方法ノ改善

(3)肥料(有機質物)ノ増産並ニ利用

(4)土糞製法ノ改良並ニ堆肥ノ獎勵

上述各項ニ關シ左記要領ニヨリソノ獎勵ヲ計ル

第一年目

第二年目

第三年目

第四年目

第五年目

農家自給肥料ニ  
關スル調査研究  
研究ハ哈爾濱農事試驗場農藝化學科之ニ  
當リ調査ハ代表的各地方農家ニツキ行フ

第一年目  
| 篤農家ヘノ委託試驗(指定村内ニテ實施)

第二年目  
| 自給肥料改善増産講習會ノ開催

第三年目  
| 一般農家ヘノ獎勵(パンフレットノ配付並ニ巡回指導ヲナス)

### ④ 共同備林及牧野ノ設置

說明

我國農民ハ開拓力耕ニ熱心ナル余リ農村生活ニ必要ナル林野ヲモ伐採開墾シ益サントシツツアルヲ以テ農村ニ對スル薪炭木材ノ自給竝ニ有畜農業ノ獎勵上綠化運動トモ併行シ力メテ農村ニ於ケル林地及牧野ノ恢復又ハ新設ヲ圖リ之ヲ部落民ノ共用ニ當テ農牧林地ノ適正ナル配合ヲ圖ルノ要アリ

實施要領

村落附近ノ未耕地原野等ハ力メテ之ヲ共用ニ保留利用ノ道ヲ講ズル様獎勵スルコトトシ之ガ實行方法トシテハ縣及農林擔當機關協議ノ上各地ノ專請ニ應ジ各村落ヲシテ逐次備林又ハ牧野ノ設定計畫ヲ樹立セシム。特ニ指定村等ニ於テハ之ガ設定ヲ急ギ以テ各地ニ於ケル模範的施設タラシム

### ⑤ 農業勞動ノ調整

說明

我國農業生産ハ主トシテ力役的經營ニ基クヲ以テ人的勞力ハ農業經營ニ於テ極メテ重要ナル地位ヲ占メ從テ國民中多數雇農階級ヲ生ゼシメツツアルノ現状ニ在リサレバ之等雇農ノ生活ノ安定ヲ計ルト共ニ一方其ノ勞力ノ配給ノ圓滑ヲ期スルハ農業經營上ノ極メテ重要ナル事項ニ屬ス然ルニ我國ノ現状ハ南北兩地域ニ於テ著シク勞力ノ密度ヲ異ニシ賃銀ニモ格段ノ差ヲ生ゼシメツツアリ他方今日尙多數國外勞工ノ渡來ヲ見ツツアルノ狀況ナリ仍テ速ニ適切ナル農業勞動調整ノ方策ヲ講ズルノ要アリ

實施要領

農業經營上勞力ノ季節的偏倚ヲ改善スルタメ漸次改良農具ノ研究等ヲ爲シツツアルヲ以テ之ガ完成ノ後ハ逐次農村特ニ北滿地方ニ普及セシメントスルモ尙一方康德二年末ヨリ各縣ニ通牒シ農業勞工ノ調節ニ關シ調査ヲナシツツアルヲ以テ之等資料ノ整備ヲ俟チ

具体的方策ノ樹立ニ着手セントス  
而シテ他面産農層ノ生活安定ニ關シテハ副業等ニヨル各季勞働機  
會ノ供與竝ニ婦女子ニ適當ナル輕勞働ノ獎勵ヲ爲サントス

### 第三 畜産ノ振興

#### 一 綿羊ノ改良増殖

##### 說明

日滿兩國ノ國防上必要ナル羊毛ノ自給ヲ圖ルト共ニ農家ノ福利増進ヲ目的トシテ綿羊ノ改良増殖ヲ圖ル  
現存スル蒙古在來種綿羊ハ滿蒙ノ風土並ニ民度ニ適スト雖羊毛生産能力劣等ニシテ時勢ノ要求ニ副ハザルモノアリ、依テ之ヲ改良シ滿蒙ノ風土ニ適シ羊毛生産能力優秀ニシテ肉用價值亦在來種ヨリ低下セザル改良種綿羊ヲ作ル、又我國ノ綿羊ハ現在其ノ頭數少キノミナラズ其ノ存在地域西方ニ遍在ス依テ其ノ増殖ヲ圖ルト共ニ分布ヲ普遍ナラシム

##### 實施要領

(一) 改良原種 「メリノー」種又ハ「コリデール」種

(二) 指導獎勵機關及方法

1. 本部、省公署及縣公署ニ綿羊技術員設置

2. 綿羊改良場ノ新設、擴充

新設 新設豫定年度

佳木斯 康德三年

四平街 康德四年

安達 康德三年

蛟河 康德四年

大賚 康德六年

清原 康德七年

3. 種綿羊ノ配付及購買

綿羊改良場生産種羊及民間ヨリ優良羊ヲ購買シ之ヲ農家ニ配付ス種綿羊ノ國內生産充分ナラザルトキハ日本又ハ朝鮮等ヨリ購買ス

4. 綿羊移植

琿春綽號ノ飼養ハ西部放牧地方ニ遍在スルヲ以テ東部農耕地方ニ對シテモ必要ナル基礎繁殖牝ヲ輸移入シテ極力飼養ヲ獎勵ス

5. 綿羊合作社ノ獎勵及助成

6. 雜種及改良種羊毛、羊皮ノ處理加工助成

7. 牧場ノ獎勵及助成

8. 技術ノ傳習

各地方ニ配置スル指導員及飼育地ノ中心トナルベキ人物ヲ養成ス

但シ綿羊改良三十五ヶ年計劃ニヨルモノトス

三 肉役牛ノ改良

說明

在來滿洲牛並ニ蒙古牛ハ何レモ役用能力並ニ肉用價值ニ於テ缺クル處多ク且近時其ノ頭數不足シテ農耕其ノ他ニ支障ヲ來シ又至ル

處肉用牛ノ不足ヲ訴ヘツツアリ將來ニ荒地復興、新墾等ニ依ル耕地擴張ニ伴ヒ此傾向益深刻ナルベク現狀ニ放任スルニ於テハ終ニ耕地ノ擴張不可能ナルト共ニ國內ニ於ケル牛肉需要ヲ充足シ得ザルニ至ルベシ、一方ニ日本ニ於テハ從來ヨリ國內ニ於ケル肉牛ノ生産不足シ年々多量ノ牛肉ヲ中華民國其ノ他外國ヨリ輸入シツツアリ依テ國內ニ於ケル役肉牛ノ需要ヲ充足スルト共ニ日本ニ對スル牛肉供給資源ヲ涵養スルタメ在來牛ノ改良増殖ヲ圖ル

實施要領

(一) 改良用原種

主トシテ在來種ヲ使用シ其ノ選擇淘汰ニヨリ改良スルモ一部地方ニ於テハ他品種ヲ以テ改良ス

(二) 種牛牧場設置

種牡牛檢査及優良種牡牛設定

(四) 生牛並ニ牛肉輸出統制

三、養豚ノ改良増殖

説明

國內ニ於ケル豚肉ノ需要莫大ナルノミナラズ養豚ハ農家好個ノ副業ナリ、然ルニ我國ニ現存スル滿洲在來豚ハ晩熟ニシテ肥性ニ富マズ且屠体部合肉質共ニ不良ナリ、依ツテ國內ニ於ケル食肉ノ需要ヲ充足シ農家ノ福利ヲ増進スルコトヲ目的トシテ養豚ノ改良増殖ヲナス

實施要領

(一) 改良原種 「パークシヤ」種

(二) 各省種畜場ノ設置擴充

(三) 各縣種豚飼育所ノ設置獎勵

(四) 改良用種豚ノ配給

各省種畜場及各縣種豚飼育所ニテ生産シタルモノヲ農家ニ配

付ス

2. 日本又ハ朝鮮ヨリ種豚ヲ購シ之ヲ農家ニ配付ス  
但シ養豚改良十ヶ年計劃ニ依ルモノトス

#### 四 酪農獎勵

說明

牛乳販賣ノ目的ヲ以テ乳牛ヲ飼育スルモノハ保健食料供給上之ヲ  
保護助成ス又一部地方ノ特殊農家ニ對シテハ酪農ヲ獎勵シテ牛酪  
乾酪、煉乳等ノ乳製品ノ自給ヲ圖ル

實施要領

(一) 乳牛結核検査ノ實施

(二) 種牛牧場設置

(三) 共同製酪所設置獎勵

#### 五 畜產加工業ノ獎勵

說明

肉製品乳製品等ノ食料製造ハ原料乳、肉ノ消費竝ニ國內ニ於ケル

需要自給ノ立場ヨリ之ヲ指導獎勵ス、皮革、毛皮、毛製品等ノ製  
造ハ國內產原料消費製品自給ノ立場ヨリ其ノ製造工業タルト農家  
副業タルトヲ問ハズ之ヲ獎勵ス

實施要領

(一) 畜產物加工技術指導

(二) 畜產物加工ニ關スル組合竝ニ共同施設獎勵

(三) 共同施設ノ獎勵

## 六 家畜防疫

說明

我國ハ家畜傳染病ノ常在地ニシテ屢々各種ノ傳染病流行猖獗シ其ノ直接ノ損害莫大ナルノミナラズ我國ノ畜産ハ之ガ爲不斷ノ脅威ヲ受ケ發達ヲ阻害セラル  
依テ之ヲ防遏シ我國畜産ノ發達ヲ圖ルト共ニ農家其ノ他ノ蒙ル損害ヲ匡救ス

實施要領

(一) 基本施設若ハ工作

1. 防疫獸醫ノ養成

2. 中央並ニ地方防疫實施機關並ニ職員ノ整備充實

3. 家畜衛生知識ノ普及啓發

4. 家畜傳染病豫防ニ關スル法規ノ制定

5. 國境及國內檢疫實施

6. 滿鐵奉天獸疫研究所ノ買收

(二) 防疫實施方法

1. 獸疫常在地ニ對スル定期的豫防注射

2. 獸疫發生ノ際ニ於ケル應急防疫

因ニ家畜防疫十ヶ年計畫ニ依リ基本施設ノ充實ヲ計ル

七 牧野及牧草ノ改良

說明

牧野ハ家畜生産ノ基本ナルヲ以テ其ノ改良維持、利用並ニ共同放牧地設定等ニツキ指導獎勵ス、又優良牧草ハ國內生産僅少ニシテ自給シ得ザル状態ナリ而シテ牧草ノ栽培ハ之ヲ自家用又ハ販賣用トシテ有利ナレバ之ガ栽培ヲ指導獎勵ス

實施要領

(一) 牧草種子ノ配付

(二) 牧草栽培技術指導

(三) 放牧地設定獎勵

(四) 放牧地改良、維持及利用指導

八 家畜交易市场ノ助成並ニ統制

說明

家畜賣買取引ノ公正圓滑ヲ期シ國內全般ニ於ケル家畜ノ需要供給  
ヲ調整セシメ以テ家畜生産者及需要者ヲ利シ畜産ノ發達ヲ圖ル爲  
康德二年末家畜市場法ヲ制定セリ  
實施要領

家畜市場法ニ依リ其ノ設立ヲ助成シ之ヲ統制ス

具体的方策ノ樹立ニ着手セントス

市シテ他面産業農層ノ生活安定ニ關シテハ副業等ニヨル各季勞働機  
會ノ供與並ニ婦女子ニ適當ナル輕勞働ノ獎勵ヲ爲サントス

第五 販賣及配給組織ノ改善

一 農産物處理、販賣及配給ノ改善

說明

農産物ノ取引制度ノ實態ニ關シテハ目下臨時産業調查局其ノ他ニ  
於テ種々調査中ナルヲ以テ其ノ調査ノ整備ニ伴ヒ全面的ニ之ガ改  
善策ヲ政充立案スル方針ナルモ販賣及配給組織ノ合理化ハ畜ニ農  
家ノ經濟ニ關係スルノミナラズ國民經濟全般ニ亘リ極メテ緊要ナ  
ル事項ナルヲ以テ差當リ必要ナル方策ノ具体化ニ努メントス

實施要領

差當リ左ノ事項ニ關シ關係各部局ノ協力シ對策ヲ講ゼントス

(1) 搬出諸掛經費ノ輕減ヲ圖ルコト

- (A) 取引経路合理化
- (B) 運賃及輸送方法改善
- (C) 公的負擔ノ減免
- (D) 農産物販賣合作組織ヲ指導スルコト
- (A) 調整改善
- (B) 共同出荷
- (C) 大口消費者トノ連繫
- (D) 農業倉庫ヲ設置シ出廻期ノ價格調整等ニ資スルコト
- (E) 農業需要物資ノ共同購入其ノ他購入ノ合理化ヲ圖ルコト

## 二 農産物検査制度ノ確立

説明

我國ニ於ケル農産物ハ品質概ネ劣悪ニシテ殊ニ調製法ノ粗放ナル爲異品種及夾雜物ノ混淆甚シク爲ニ商品價値ヲ低下スルコト多キヲ以テ速カニ農産物検査制度ヲ確立シテ品種ノ向上ト取引ノ公正且圓滑化ヲ圖ルコト極メテ肝要ナリ

實施要領

### (一) 検査制度ノ實施

現在検査ヲ施行シ居ラザル農産物ニシテ検査ノ必要アルモノニ對シテハ、協會、同業組合、縣又ハ農會等ヲシテ補助金ノ交付ソノ他ノ方法ニヨリ之ヲ實施セシム  
差當リ實施スルモノ次ノ如シ。

#### A 小麥ノ検査

B 落花生、蘇子、大、小麻子等ノ油脂原料農産物ノ検査

○ 包米、高粱、粟等ノ工業原料乃至飼料農産物ノ検査

### （一）検査制度ノ改善

現在滿鐵又ハソノ他機關ニ於テ施行シツツアル農産物ノ検査ニ對シテハ國家的見地ヨリ農産物改良取引上ソノ合理的改善ヲ行ハシム

### （二）検査制度ノ國營化

上述ノ如ク各農産物別々ニ夫々ソノ事情ニ應ジ自然發生的ニ誘導シタル検査制度ヲ逐次整備スルト共ニコレガ統一の合理化ヲ計ル爲全農産物ニ對スル検査制度ノ國營化ヲ確立ス、コレガ爲ニ中央ニ國立農産物検査所ヲ設立シ全國各主要地點ニ支所及分所ヲ配置シ全國検査網ヲ完備ス

### 三、農産物價格調製制度ノ確立

#### 說明

農産物ノ價格ハ年ノ豐凶其ノ他ノ理由ニ依リ著シキ變動ヲ免レズ

之ガ價格ノ調整ヲ圖リ其ノ安定ヲ期スルハ雷ニ農家經濟ノミニ止マラス國民經濟全體ニ亘リ極メテ緊要ナル事項ニ屬スルヲ以テ速カニ適當ナル方策ヲ樹立セムトス  
實施要領

先ヅ以テ農産物ノ出廻期ニ於ケル季節的價格低落ヲ防止シ併セテ取引ノ合理化ヲ圖ル爲康徳四年度ヨリ農業倉庫ノ普及ヲ圖リ併セテ低利ナル資金ノ融通等ヲ行フコトトシ年ニ亘ル農産物價格ノ調整策ニ付テハ尙充分攻究ノ上適切ナル方策ヲ樹立セムトス

### 第九

#### 農業金融ノ改善

### 一、農業金融機關ノ整備

#### 說明

我國ニ於ケル農業金融機關トシテハ建國後成立ヲ見ルニ至リタル金融合作社ノ外在來ノ機關タル當舖及糧棧等存スルモ農業生産ノ振興ヲ圖ル上ニ於テ貸付利率其ノ他ニ付改善ヲ要スル事項多キヲ

以テ速カニ我國農業ノ實態ニ即シタル信用制度ノ確立ヲ必要トス  
速カニ關係部局ト協議シ現存ノ金融合作社ノ貸付利率ヲ相當程度  
低下セシムル等眞ノ農村金融機關タルノ實体ヲ具フルモノタラシ  
ムルノ方策ヲ講ジ一方金融合作社ト農業諸團體トノ結合ニ關シ適  
切ナル業ヲ樹立セントス尙金融合作社ノ利率低下困難ナルニ於テハ  
率ノ低下ヲ期スベク万一金融合作社ノ利率低下困難ナルニ於テハ  
農業金融機關トシテ別途ニ他ノ機關ノ樹立ヲ計ルモ止ムヲ得ザル  
ベシ又現在農民ニ對スル貸付利率ハ一般ニ高率ナルヲ以テ高利債  
借換制度ノ樹立ヲ急務トナス

### 三 災害復興資金ノ融通制度ノ樹立

說明

農業災害ノ發生ハ農民生活ノ保治上致命的ノ關係ヲ有ス特ニ水害  
防除ノ爲河川ノ改修、森林ノ保護育成等ニ付極力之ヲ努ムルノ要  
アルコト謂フ迄モナキ所ナルモ今後尙相當ノ年月ニ亘リ屢各地ニ  
災害ノ發生ヲ豫想セザルヲ得ザル實情ニ在ルヲ以テ之等ノ災害ニ  
對シ豫メ何等カ適當ナル常時的制度ノ樹立ヲ必要トス、最近義倉  
制度ノ制定ヲ見タリト雖モ本制度ハ敬放、貸出及平糶ニ依ル食糧  
ノ調節ヲ目的トスルヲ以テ尙此ノ外ニ農業者ノ生産恢復資金ノ貸  
出ヲ容易ナラシムルノ制度ヲ樹立スルノ要アリ

#### 實施要領

毎年中央銀行ヲシテ災害復興資金トシテ豫メ一定金額ヲ保留セシ  
メオキ災害ノ生ジタル場合ニ低利資金ノ融通ヲ爲サシムルコトト  
シ之ニ依リ生ジタル銀行ノ損失ハ一定金額ヲ限度トシ政府之ヲ補

第六 償スルノ方策等ヲ功究シ速ニ具体案ヲ作成セントス。  
第五、農業團體制度ノ整備充實

說明

農業者ノ福利ヲ増進シ其ノ經濟ノ安定ヲ期セシムル爲ニハ農業者自身ノ團體ノ力ニ俟ツ所大ナルハ言フ俟タズ仍テ、今後大ニ農業者ノ團體組織ノ普及獎勵ニ努メ併セテ團體相互ノ連絡統制ヲ圖ルノ方針ナリ、一方農業者ノ知識極メテ低位ナル今日ニ在ツテハ農事ニ關スル指導等ハ獨リ政府機關ノミノ到底能クスル所ニ非ザルヲ以テ農會制度ヲ改正シ政府機關ノ農事ニ關スル眞ノ側面的協助者タラシメシム。

實施要領

- (1) 康徳二年度ヨリ引續キ實施中ノ更生指定村ヨリ始メテ漸次農村ニ農事共同施設、差當リ農具ノ共同購入、貸付及共同利用並共同作業場ノ設置等ノ事業ヲ爲ス簡易ナル部落單位ノ農事組合ノ

設立ノ獎勵並其ノ事業ノ指導ニ努ムルコト。

- (2) 農事組合ノ發達ヲ見、農村ニ於ケル協同精神ノ漸次普及スルニ伴ヒ農村ニ農業ニ關スル各種事業ヲ行フ協同團體知識ヲ發達セシムルコト

- (3) 農村協同團體ガ發達シ縣單位ノ協同團體聯合會ノ組織セララルル氣運ニ亘リタルトキハ縣農會ヲシテ右ノ聯合會タルノ組織機能ヲ有スルモノタラシムルコト

- (4) 尙農會ニ付テハ其ノ更生ノ第一歩トシテ康徳三年度ヨリ縣農會ニ技術員ヲ設置スル場合ノ助成ニ關スル途拓カレタルヲ以テ之ニ依リ有能技術員ヲ配置スルト共ニ農會ノ改組更生ニ付テハ別紙農會法案ニ基キ從來存シタル農會中省農會及區鄉農會ハ之ヲ廢止シ縣農會ニ付テハ縣行政機關ト密接不離ノ關係ニ立ツ確固タル組織ヲ有スルモノタラシム。

(5) 次ニ農業ニ關スル各種團體亂立ハ出來得ル限リ之ヲ防止スルノ方  
針ヲ以テ今后指導シヨク意嚮ニシテ例ヘバ畜産ニ關スル各種改良  
増殖防疫等ノ事業モ農會ノ事業中ニ包含セシメユク方針ナリ

### 第七、農家負擔ノ合理化

#### 說明

農村及都市ノ負擔ノ不均衡ヲ調整シ農業及他産業トノ關聯ヲ合理  
化シ全産業部内ノ綜合的發展ヲ計ル見地ニ立ツトキ農家負擔ノ合  
理化ニ關シ速ニ適切ナル方策ヲ樹立セシムルコトハ洵ニ肝要ナル  
事項ニ屬ス。

#### 實施要領

農家負擔ニ關スル調書ヲ速ニ整備シ農家負擔ノ公平、租税ノ還元  
性及農業收益ノ薄利性等ニ鑑ミ公的負擔ノ逐次的減免ニ付關係部  
局ト接涉促進セシメントスルモ先ズ以テ牲畜税ノ廢止、農產物輸  
出税ノ減廢等ニ付之ガ具体化ヲ期セントス、尙之ト平行シテ地方  
税其ノ他各種負擔ニ付檢討ヲ加ヘ之ガ是正ニカムルノ方針ナリ。

第七、農村計畫ノ樹立

一、農民精神ノ作興

說明

農村計畫ノ遂行ハ農民精神ノ作興ヲ以テ第一義トス蓋シ現下農村ノ疲弊ノ原因ハ内外經濟界ノ不況、舊政府ノ苛斂誅求ニ因ル所大ナルモノアルモ同時ニ農民自身ノ自覺ノ足ラザル所モ亦其ノ禍因タルヲ以テ此ノ際大ニ農民精神ノ作興ニ努メ堅忍不拔、隣保協助ノ精神ヲ鼓吹スルト共ニ農業知識ノ普及ニ力ムルコト肝要ナリト思料ス

實施要領

農民精神ノ作興及農業知識ノ普及ニ付テハ中央各部及地方廳ト密接ナル連絡ヲ圖リ尊農思想ノ普及ノ爲主トシテ左ノ事項ニ付計畫實施シ特ニ指定農村ニ於ケル農村計畫ハ之ニ挿入セシム

- (一) 篤農家ノ表彰
  - (二) 各種學校及農民訓練所ニ於ケル教育及精神訓練、
  - (三) 農業圖書館、博物館、陳列所等ノ設置、
  - (四) 品評會ノ開催
  - (五) 巡廻指導班ノ活動
  - (六) 雜誌、パンフレット等ノ發行、ラヂオノ利用
  - (七) 標語、及農民歌ノ募集及其ノ普及
- 二、指定農村ニ於ケル振興

說明

我カ國ノ農村ハ各地域毎ニ頗ル特異性ヲ有スルヲ以テ各地方毎ニ一定村ヲ選定シ政府諸施設ノ有機的配分其ノ他該地ニ於ケル農村振興上最モ適切ナル方法ニ基キ夫々一定ノ農村計畫ヲ樹立セシメ之ニ對シ中央及縣當局一体ト爲リテ指導ヲ集中シ以テ各地方毎ニ農村振興上ノ模範タルベキ農村計畫ヲ遂行シ附近農村ニ對スル啓

學作用ヲ醞酵セシムコト肝要ナリト認メ康徳二年度ヨリ逐次指定  
農村ノ設定ヲ連續シツツアリ

實施要領

- (一) 指定農村ハ主トシテ縣技士、駐在縣ニ之ヲ設定スルコトトシ當  
該地方ニ妥當スル各種農村施設ノ綜合的有機的配合ヲ圖ル、  
特ニ農事共同施設ノ利用竝ニ農事組合ノ活動ニヨリ協同精神ノ  
涵養ヲ圖ル、
- (二) 縣公署對農村ノ親和的結合點タラシムル
- (三) 指定農村ニ於ケル農村計畫ハ縣設指定農村及集團部落等ニモ漸  
次推廣擴充ヲ圖ル
- (四) 今後五ケ年中ニ約一三〇縣ニ於ケル指定農村ニ對シ第一期施設  
ヲ完成セントス。

第九水産業ノ開發

一、計畫要旨

水産業ハ我國ノ重要産業ノ一ニシテ其ノ生産物ハ國民ノ生活上日  
常必須ノ保健食品ナルヲ以テ斯業ノ消長ハ一般國民經濟ニ影響ス  
ル處頗ル大ナルモノナリ

然ルニ現在國內水産額ハ僅ニ八百萬圓ニ過ギズ輸入額八百萬圓ヲ  
加フルモ猶國內要求額ノ半ヲ補充スニ足ラズ保藏運輸ノ方法適當  
ナラザルト供給不足其ノ他ノ原因ニ因リ價格不廉ナル等ノ爲都市  
其ノ他鐵道沿線及生産地附近ヲ除クノ外供給頗ル圓滑ナラズ奧地  
方面ハ自然高價ナル獸肉ヲ使用セル狀況ニ在リ

繼テ我國ニ於ケル水産資源ノ狀況ヲ觀ルニ北滿方面ニ於テハ河川  
ニ湖沼ニ頗ル廣漠タル未開ノ豐漁場ヲ存シ又海岸方面ニ於テモ卑  
近ナル沿岸漁業ニ伸展ノ餘地決シテ尠カラザルヲ以テ之ガ開拓増  
産ヲ圖ルト共ニ適當ナル保藏運搬ノ方法ヲ講ジ取引機關ヲ整備シ

以テ需給ノ圓滑ヲ計ルハ寔ニ刻下ノ急務ニ屬スルノミナラズ一面又水産物ハ對支輸出好望品ニシテ之ガ貿易ノ振興ハ國益増進上多大ノ影響アルニ鑑ミ茲ニ先ヅ康德四年度ヨリ五ケ年間ヲ劃シ現在ノ倍額増産ヲ目標トシテ應急増産計畫ヲ樹立實施スルト共ニ一面斯業ノ開發ニ關スル基礎的施設ヲ爲シ更ニ其ノ間一層ノ調査研究ヲ逐ゲ以テ將來斯業ノ伸展ニ備ヘントス尙増産計畫ニ對應シテ實施スベキ資源ノ維持涵養ニ關スル施設ハ主トシテ立法的手段ニ依ルヲナルヲ以テ本計畫ト分離シテ之ヲ逐行セントス

因ニ本計畫ニ關シ日滿産業統制ノ關係ニ付考察スルニ我國ハ朝鮮及關東州ト海洋方面ニ於テ漁場相隣接シ沖合ニハ朝鮮關東州出漁船ノ外日本内地側通漁船モ亦尠カラズ從テ沖合漁業ニ付テハ彼我ノ抵觸ナキニ非ラザルガ如シト雖モ元來黃海及渤海ニ於ケル沖合漁場ニハ殆ト國內漁業者ノ操業慣行ナク夙ニ日本側トシテ漁船及機船底曳網漁船ノ開發進出セル水域ニシテ從テ其ノ慣行ヲ尊重

スベキハ日滿協調ノ精神ニ則リ當然ノコトニ屬スベク本計畫ニ於テモ斯種漁業ヲ積極的ニ獎勵助成スルノ意圖ナク殊ニ現下國外通漁船ノ操業狀態ニ鑑ミルモ國內漁業者ノ進出ノ餘地乏シク一面又國內漁業ノ實狀ニ徵スルモ沿岸漁場ノ開發ハ刻下ノ急務ニシテ到底沖合進出ノ餘力ナク從テ本計畫ニ依ル海洋漁業ノ獎勵ニ付テハ別段ノ支障ヲ認メズ

其ノ他現在輸入額ノ大半ハ日本ニ於テ之ヲ得ルモ主トシテ高級鮮魚、高級鹽乾品及罐詰類ニシテ此等ニ付テハ本計畫ニ依ルモ到底急速補給ノ見込ナキヲ以テ何等ノ影響ナク又將來ニ於ケル一般大衆向水産物ノ輸入ニ付テハ運費關稅等ノ附加ニ依ル價格ノ不廉ト慣用嗜好等ノ關係上之ガ増加ハ容易ナラザルベク然モ將來國內ニ於ケル淡水魚類ノ生産増加スベキハ自然ノ歸趨ナルヲ以テ之ヲ抑壓シテ高價ナル日本産魚類ノ輸入増加ハ殆ト期待シ得ザルベキヲ以テ此等ノ實狀ニ照シ本計畫ノ逐行ハ日滿産業統制上敢テ支障ナシト認ム

(一) 基本施設ノ整備

説明

漁業ノ根本的發達ヲ圖ルニハ水産制度ノ確立水産行政機關ノ整備  
擴充水産試驗調査機關ノ充實技術者養成機關及水産知識ノ普及  
養施設ノ開設等諸般ノ基礎的施設ヲ整備スルニ非ザレバ到底其ノ  
目的ヲ達成スルコト能ハザルニ依リ茲ニ之ガ整備充實ヲ期セント  
ス

實施要領

水産制度ニ付テハ漁業法、漁會法及此等ノ附屬法規ヲ急速制定シ  
テ之ガ確立ヲ圖リ水産行政機關ニ付テハ之ヲ統一シテ單位系統ノ  
モノトスルト共ニ職員ノ充實ヲ圖リ、試驗調査機關ニ付テハ既設管口水産局ヲ試驗場ニ改組シテ其ノ内容  
ヲ充實整備スルト共ニ哈爾濱ニ水産試驗場ヲ新設シ又水産技術者  
養成機關及水産知識ノ普及涵養施設ニ付テハ水産試驗場附屬水産  
技術員養成所ヲ設置シテ主トシテ滿人技術者ノ急速養成ニ努ムル

ト共ニ併テ國內漁業ニ通曉セル日人技術者ヲモ養成シ尙水産ニ關  
スル各種ノ講習會又ハ傳習會ヲ開催シテ水産知識ノ普及涵養ニ努  
ムルコトトシ而シテ此等ノ實施ニ關シテハ現ニ着手セル水産制度  
ノ確立計畫ニ付テハ別紙漁業法案及其ノ附屬諸法規案ニ基キ制定  
事務ノ進涉ヲ圖リ亞テ漁會關係諸法規ニ付研究立案ヲ逐々其ノ他  
未着手ノ諸事項ニ付テハ適當具體的計畫ヲ樹立シテ逐次其ノ遂行  
ヲ期セントス

### 三 漁業秩序ノ維持

#### 說明

從來我國ニハ確固タル漁業制度ナク從テ漁業處分モ區々ニ亘リ加フルニ密漁者多數其ノ間ニ介在シ漁業ノ秩序著シク紛亂セルガ政後制度ノ不備ト漁政機關ニ於ケル當務職員及經費ノ不足ノ爲急速之ヲ是正スルコトヲ得ズ依然漁利ノ公平ト永續トヲ期スルコト能ハザル状態ニ在リ茲ニ漁業制度ヲ確立スルト共ニ之ニ基キ適正ナル漁業處分ヲ爲シ漁場ノ整理ヲ行ヒ漁業ノ監督取締ノ施設ヲ整備シ其ノ他涉外關係ヲ調整シ以テ漁業秩序ノ維持ニ努メ營業ノ安固ト漁利ノ公平及永續ヲ期スルハ斯業ノ開發ノ根幹ニ屬スル事項ナルヲ以テ之ガ計畫ヲ樹立遂行シテ其ノ完璧ヲ期セントス

#### 實施要領

漁業秩序ノ維持ニ關シテハ漁業法規ヲ制定シテ操業ニ關スル基本制度ヲ確立シ之ニ基キ新ニ漁業處分ヲ爲シ應急漁業秩序ノ維持ニ

努メ更ニ漁利ノ公平ト永續トヲ圖ル爲漸次漁場ノ整理ヲ斷行シテ處分ノ適正ヲ期シ之ト同時ニ不正漁業ヲ防壓シ其ノ他漁業ノ保護監督ノ徹底ヲ期シ尙日滿間ノ漁業關係極メテ緊密ナルニ鑑ミ常ニ兩者ノ關係ノ調整ニ努ムルコトトシ此等ノ實施ニ關スル具體的計畫ヲ樹立シ其ノ遂行ヲ期セントス

#### 四 北滿未開水面ノ開發

#### 說明

北滿ニ於ケル河川湖沼ハ天興ノ一大資源ヲ成セルカ從來治安確立セザリシト交通運輸不便ナルモ適當ナル保藏運搬ノ方法ヲ講セザリシ等ノ爲概ネ集團部落ノ附近ニ於テ密集操業セル状態ニシテ極メテ廣大ナル未開ノ豐漁場ヲ在セルヲ以テ國內水產物ノ供給不足ト古來國民カ淡水產魚類ヲ常用嗜好セルニ鑑ミ之カ開發ハ寔ニ刻下ノ急務ニ屬スルノミナラズ之ニ依リ邊境地帯ニ於ケル人口ノ増加ヲ圖リ且外國トノ接境水面ニ於ケル產業上ノ實權ヲ先取把握

スルハ又國策上極メテ緊要ト認メラルルニ依リ茲ニ先ヅ五箇年ヲ劃シ之ガ積極的開發ニ着手セントス

#### 實施要領

北滿未開水面ノ急速開發ニ付テハ同地方ガ治安末ダ全カラズ交通運<sup>送</sup>頗ル不便ナル等種々ノ原因ニ因リ其ノ遂行容易ナラザルニ鑑ミ(一)特殊ノ未開水面ニ關シテハ統制企業ヲ獎勵シ(二)日滿合辦ニ依ル特殊漁業會社ノ設立ヲ勸奨シ(三)之ニ對シ極メテ廣汎ナル一定ノ水域ニ於ケル漁業ヲ獨占經營シ得ル漁業特許權ヲ附與シ(別紙漁業法案參照)以テ其ノ目的ノ達成ニ資シ(四)既存漁場ニ隣接スル通常未開水面ニ關シテハ一般漁業者ノ漁業ヲ獎勵シ其ノ遂行ニ付テハ(一)漁家ノ散在ヲ避ケ沿岸集團部落ヲ根據地トシテ出漁水面ノ擴大ニ努メ之ガ方策トシテハ遠距離出漁ヲ容易ナラシムル爲漁船ニ對スル補助機關ノ設置、母船式漁業及漁獲物共同運搬船ヲ中心トスル共同出漁等ヲ獎勵シ以テ游動漁業ノ進出ト新規定着漁場ノ開

拓ニ努メ之ト同時ニ(二)各種ノ方策ヲ講ジテ經營方法ノ合理化ヲ圖リ生産利益ノ確保ニ努メ又以<sup>出</sup>漁水面ノ擴張ニ資スルコトトシ更ニ之ガ遂行ヲ容易ナラシムル爲江岸根據地ニ於ケル漁業組合ノ設立ヲ勸奨シテ其ノ共同施設事業ヲ助成シ以テ目的ノ貫徹ニ努メントスル<sup>ニ</sup>ノニシテ尙此等ノ實施ニ關シテハ別ニ計畫ヲ樹立シ遺漏ナキヲ期セントス

#### 五 海洋沿岸漁業ノ開發

#### 說明

海洋方面ニ於テハ<sup>從來漁業ハ泰微トシテ振ハズ消極的漁業ヲ主トシテ而モ</sup>漁族ノ産卵蕃殖場タル<sup>遼東海灣ヲ搖シ之ニ隣接シテ渤海及黄海ノ好漁場ヲ控フルモノ未開漁場各所ニ散在セルガ如キ状態ニ在リ之ガ開發ヲ圖ルト共ニ新規優良ナル<sup>漁業ヲ獎勵シ積極的漁法ノ普及ニ努メ以テ沿岸漁業ノ開發伸展ヲ圖ルハ海産魚類ノ供給著シク不足セル現狀ニ鑑ミ極メテ緊要ノコトニ屬スト</sup></sup>認メラルルニ依リ茲ニ之ガ開發計畫ヲ樹立シ其ノ遂行徹底ヲ期セントス

### 實施要領

海岸沿岸漁業ノ開發ニ付テハ(一)漁業及之ニ附帶セル水產物製造業ノ獎勵改善ニ努メテ生産數量ノ増加ヲ圖ルト共ニ(二)其ノ經營ノ合理化ニ努メテ生産利益ノ増大ヲ期スルヲ以テ重要事ト爲セルガ(一)生産數量ノ増加ニ付テハ(イ)主トシテ漁獲率ノ優良ナル新規游動漁業ヲ勸奨シ併テ一般在來漁業及水產物製造業ヲ獎勵シ生産能力ノ數的增加ニ努ムルト共ニ漁船漁具漁法ノ改良等其ノ質的改善ヲ圖リ以テ生産能力ノ増大ヲ期シ(2)一面新規漁場ヲ調査開拓シテ生産水面ノ擴張ヲ圖リ又(イ)經營ノ合理化ニ付テハ(イ)生産費ノ低減ヲ圖ルト共ニ(2)生産價值ノ保全ニ努メ更ニ進ンテ(3)生産價值ノ向上ニ關スル方策ヲ講ジ又(イ)水產物ノ販賣方法ノ合理化ヲ圖リ其ノ他(5)簡易船着場又ハ船溜ノ築設(6)遭難防止ニ關スル施設等ノ普及徹底ヲ期スルコトトシ尙此等ノ實施ニ關シテハ適當ノ計畫ヲ樹立シ以テ其ノ目的ノ貫徹ニ努メントス

### 六 水產物ノ販路ノ擴張及開拓

#### 說明

從來水產物ノ供給ハ頗ル圓滑ヲ缺ギ僅ニ冬期凍魚ノ供給ニ依リ其ノ嗜好ヲ満足セシメシ狀態ニ在ルヲ以テ將來生産ノ増加ニ伴ヒ適當ノ對策改善ヲ施シ以テ國內販路ノ擴張ヲ圖リ一面又水產物ハ對支輸出好望品ニシテ之ガ販路ノ開拓ヲ策スルハ究メテ緊要ト認ムルニ依リ茲ニ之ガ計畫ヲ樹立シ急速其ノ遂行ヲ期セントス

#### 實施要領

水產物ノ販路ノ擴張開拓ハ(一)國內供給ノ圓滑ヲ期シ(二)國外輸出ノ振興ヲ圖ルニ在リ而シテ(一)國內供給ノ圓滑ヲ期スルニハ交通運輸機關ノ整備ニ俟ツ處頗ル大ナリト雖モ斯ノ如キハ我國ノ現狀ニ於テハ到底急速之ヲ望ムベクモ非ザルヲ以テ(イ)専ラ水產物ノ保藏運輸方法ノ改善ヲ圖リテ長期輸送ニ堪ユルノ方法ヲ講ボルト共ニ之ガ實施ニ伴ヒ冬期以外ニ於ケル輸送容易トナルヲ以テ(2)從來供給

不足ヲ告グタル春秋期ニ於ケル漁業ヲ獎勵シテ其ノ圓滑ヲ期シ(3)更ニ多年ノ積弊タル取引方法ノ改善ヲ圖リ魚價ノ公正ヲ維持シ取引系統ノ固定ヲ防ギ以テ供給ノ圓滑ニ資スルコトトシ又(二)輸出ノ振興ニ付テハ(1)專ラ對支販路ノ開拓ヲ目標トシ濫賣ヲ避ケ輸出ノ統制ヲ圖ル爲對支水產物輸出組合ノ設立ヲ勸奨シ(2)一面北支政權トノ連絡協調ヲ圖リテ北支重要都市ニ於ケル日滿支合辦ニ依ル水產物取引機關ノ設立ヲ期シ又(3)可及的運賃關稅ノ低減ヲ圖リ(4)鮮魚輸送ノ便益ヲ圖ル爲冷藏貨車ノ設備ヲ爲ス等諸般ノ方策ヲ講ジ(5)對日輸出貿易ニ付テハ日本ニ於ケル亞米利加蝦ノ輸入ニ代ル爲冷凍蝦ノ輸出ヲ獎勵シ又隨ノ需要多キニ鑑ミ之ガ輸出ヲ圖ルトトシ更ニ此等ノ實施計畫ヲ樹立其ノ遂行ヲ期セントス

#### 七 漁業組合ノ助成

##### 說明

漁業ノ伸展及漁村ノ發達ヲ企圖スルニハ漁業ノ技術的改善ニ努ム

12

ルノ外現時我國ノ狀勢ニ於テハ特ニ漁民經濟ノ向上確立及精神ノ作興ヲ圖ルハ極メテ緊要ノ事ニ屬スルモノト思料セラルルガ之ガ目的ヲ達成センニハ當業者ヲシテ強固ナル漁業組合ヲ組織セシメ其ノ隣保互助相互啓發ニ據ラシムルヲ最モ捷徑ト認メラルヲ以テ之ガ保護監督ニ關スル法規ヲ制定完備スルト共ニ特ニ計畫ヲ樹立シテ之ガ助成ニ努メントス因ニ漁業組合ノ創設助成ニ付テハ治安ノ維持上軍警當局ニ於テモ夙ニ要望シツツアル處ナリ

##### 實施要領

漁業組合ノ助成ニ付テハ(一)沿岸ニ於ケル漁業者ノ集團部落ニハ近隣ノ散在漁家ヲ包括セシメ大約漁業者及製造業者百人以上ヲ標準トシテ其ノ設立ヲ勸奨シ(二)尙組合ノ發達ト否トハ理事者ノ適否ニ係ルコト頗ル大ナルニ鑑ミ努メテ優良理事者ノ選任ヲ助成シ(三)又共同施設專業ノ振否ハ直接組合ノ盛衰ト組合員ノ利害ニ重大ナル關係アルヲ以テ專ラ直接漁業ニ關スル施設及漁業ニ關スル經濟ノ發達ニ關スル

13

施設ヲ中心トシ各組合ノ實情ニ應ジテ其ノ獎勵ニ努ムルコトトシ  
之ガ實施計畫ヲ樹立シテ其ノ徹底ヲ期セントス

(參照) 水産業開發五年計畫要綱

目次

- (一) 基本施設ノ整備
  - (二) 漁業秩序ノ維持
  - (三) 北滿未開水面ノ開發
  - (四) 海洋沿岸漁業ノ開發
  - (五) 水產物ノ販路ノ擴張及開拓
  - (六) 漁業組合ノ助成
- 計畫事項
- 第一 基本施設ノ整備
  - (一) 水產制度ノ確立
    - (1) 漁業法及其ノ附屬法規ノ制定
    - (2) 漁會法及其ノ附屬法規ノ制定
  - (二) 水產行政機關ノ整備擴充

- (1) 水產行政機關ノ統一
  - (2) 本部及地方廳水產關係職員ノ充實
  - (三) 試驗調查機關ノ充實
    - (1) 管口水產局ノ試驗場改組及內容充實
    - (2) 哈爾濱水產試驗場ノ設置
  - (四) 技術者養成機關又ハ同施設ノ開設
    - (1) 水產試驗場附屬水產技術員養成所ノ設置
    - (2) 水產ニ關スル講習會又ハ傳習會ノ開設
- 第二 漁業秩序ノ維持
- (一) 漁業處分ノ適正及漁場ノ整理
  - (二) 漁業取締ノ徹底
    - (1) 漁業取締船ノ建造
    - (2) 漁業監督官吏ノ任命
  - (三) 涉外關係ノ調整

- (1) 日滿間漁業保護區域ノ制定維持
  - (2) 日滿間機船底曳網漁業ノ許可船數割當
  - (3) 日滿接壤水面ニ於ケル漁業關係ノ調整
  - (4) 日滿相互通漁慣行ノ尊重
  - (5) 沿岸漁業ト機船漁業トノ衝突緩和
- 第三 北滿未開水面ノ開發
- (一) 統制企業ノ獎勵
    - (1) 特殊漁業會社ノ設立獎勵
    - (2) 特許漁業權ノ附與
  - (二) 一般漁業ノ獎勵
    - (1) 出漁水面ノ擴張
      - (A) 定着漁業及游動漁業ノ獎勵
      - (B) 補助機關設置獎勵
      - (C) 母船式漁業ノ獎勵

- (一) 經營方法，合理化
  - (1) 春秋期漁業，獎勵
  - (2) 漁獲物輸送方法，改善
    - (A) 漁獲物共同運搬船，建造獎勵
    - (B) 活魚輸送設備，獎勵
  - (3) 漁獲物保藏設備，改善
    - (A) 天然，水簡易貯藏場，設置獎勵
    - (B) 簡易冷藏庫，設置獎勵
    - (C) 魚類蓄養場，設置獎勵
    - (D) 減價魚鹽，供給及漁獲物簡易加工製造，獎勵
  - (4) 江岸根據地ニ於ケル漁業組合，設立獎勵
    - (A) 優良理事者，撰任獎勵
    - (B) 共同施設事業，獎勵
- 第四 海洋沿岸漁業，開發

- (一) 生產數量，增加
- (1) 生產能力，增加
  - (A) 新規優良漁業，在來漁業及水產物製造業，獎勵ニ依ル數的增加
  - (B) 漁船漁具漁法，改良ニ依ル質的改善
  - (2) 生產水面，擴張
    - (A) 新規免許漁場，開拓
- (二) 經營，合理化
  - (1) 生產費，低減
    - (A) 操業組織，改善及餘剩勞力，利用
    - (B) 漁法，改良
    - (C) 漁具及副漁具，防蝕裝置，獎勵
    - (D) 漁業資金，低利融通及融通方法，改善
  - (2) 生產價值，向上

第五

- (A) 製造加工品、品質向上
- (B) 生產價值、保持
- (C) 天然冰簡易貯藏場、設置獎勵
- (D) 簡易冷藏庫、設置獎勵
- (E) 活魚輸送設備、獎勵
- (F) 減價魚鹽、供給及漁獲物簡易加工製造業、獎勵
- (G) 販賣、合理化
- (H) 漁會、共同販賣、獎勵
- (I) 魚市場、監督及出荷獎勵
- (J) 簡易船着場又ハ船溜、築設獎勵
- (K) 遭難、防止
- (L) 氣象ニ關スル知識、普及
- (M) 暴風警報信號施設、普及
- (N) 水產物、販路、擴張及開拓

(一) 國內供給、圓滑

- (1) 水產物保藏運搬方法、改善
  - (A) 漁獲物運搬船、建造獎勵
  - (B) 活魚輸送設備、獎勵
  - (C) 天然冰簡易貯藏場及簡易冷藏庫、設置獎勵
  - (D) 減價魚鹽、供給及鹽藏獎勵
  - (E) 乾製燻製其、他製造加工、獎勵
- (2) 北滿方面春秋期漁業、獎勵
- (3) 水產物取引機關、改善
  - (A) 漁業組合、共同販賣事業助成
  - (B) 生産地魚市場、開設獎勵
- (4) 國外輸出、振興
- (5) 對支水產物輸出組合、設立助成
- (6) 在北支重要都市水產物取引機關、確立促進

- (3) 運賃及關稅ノ低減
- (4) 冷藏貨車ノ設備
- (5) 對日冷凍蝦及鼈ノ輸出獎勵

第六 漁業組合ノ助成

- (一) 設立助成
- (二) 優良理事者ノ選任獎勵
- (三) 共同施設事業ノ獎勵

第十 農務行政機關ノ整備擴充

以上九項ニ於テ概說セル農業及水産業ニ關スル諸方策ニ基ク各種施設ノ爲ニハ中央及地方廳ヲ通ジ行政機關ノ整備充實ヲ圖ルノ要アリ殊ニ直接農漁民指導ノ任ニ當ルベキ縣當局實業關係職員ノ充實ヲ圖ルヲ以テ最モ緊要ナリトス、仍テ縣技士ノ配置ヲ計ルト共ニ既ニ實施中ノ農林技術員養成所及獸醫養成所ニ於ケル縣滿人技術員ノ養成ヲ繼續シ今后五年間ニ一通縣農務關係職員ノ養成及再教育ヲ完成スル豫定ナリ（水産業ニ關シテハ前出）